



平成29年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月15日

上場会社名 株式会社 東京ドーム
 コード番号 9681 URL <http://www.tokyo-dome.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 長岡 勲
 (氏名) 佐々木 浩平

TEL 03-3811-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年1月期第3四半期の連結業績(平成28年2月1日～平成28年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第3四半期	64,708	1.2	10,820	△1.4	9,346	△0.3	6,185	12.8
28年1月期第3四半期	63,915	4.7	10,978	21.6	9,374	25.1	5,483	△14.0

(注) 包括利益 29年1月期第3四半期 6,995百万円 (△32.9%) 28年1月期第3四半期 10,432百万円 (68.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第3四半期	64.90	—
28年1月期第3四半期	57.54	—

※当社は、平成28年8月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第3四半期	303,902	92,158	30.3	967.03
28年1月期	302,715	86,312	28.5	905.63

(参考) 自己資本 29年1月期第3四半期 92,158百万円 28年1月期 86,312百万円

※当社は、平成28年8月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年1月期	—	0.00	—	—	—
29年1月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年8月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成28年1月期の配当の状況につきましては、当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年1月期の連結業績予想(平成28年2月1日～平成29年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,300	△1.8	11,700	△8.1	9,900	△6.9	6,300	38.2	66.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年8月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成28年1月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合後の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注)詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年1月期3Q	95,857,420 株	28年1月期	95,857,420 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年1月期3Q	556,481 株	28年1月期	551,108 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年1月期3Q	95,303,705 株	28年1月期3Q	95,310,967 株
----------	--------------	----------	--------------

※当社は、平成28年8月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(株式併合後の配当及び業績予想)

当社は、平成28年4月27日開催の第106期定時株主総会において、株式併合に関する議案が承認可決されたため、平成28年8月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成29年1月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成29年1月期の配当予想

1株当たり配当金

期末 6円

2. 平成29年1月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益

通期 33円05銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、読売巨人軍公式戦の開催数の増加やコンサートイベント関連商品の販売の好調により増収となりましたが、諸経費の増加や熱海後楽園ホテルのみさき館の営業終了等により、営業利益及び経常利益につきましては減益となっております。また、関連会社株式の売却により、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては増益となっております。

以上の結果、売上高は647億8百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業利益は108億2千万円(前年同四半期比1.4%減)、経常利益は93億4千6百万円(前年同四半期比0.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は61億8千5百万円(前年同四半期比12.8%増)となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

<東京ドームシティ>

(東京ドーム)

東京ドームは、読売巨人軍公式戦の開催数の増加やコンサートイベント関連商品の販売の好調により、増収となりました。

(東京ドームシティ アトラクションズ)

東京ドームシティ アトラクションズは、各アトラクションの好調はありましたが、ヒーローショー特別公演開催数の減少等により、減収となりました。

(東京ドームホテル)

東京ドームホテルは、客室稼働率はわずかに減少しましたが、客室単価の増加により増収となりました。

(ラクーア)

ラクーアは、スパ入場者数の減少により減収となりました。

(黄色いビル)

黄色いビルは、賃料の減少により、減収となりました。

以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は485億7百万円(前年同四半期比2.0%増)、営業利益(セグメント利益)は131億2千4百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

<流通>

ショッピングインは、ルミネ荻窪店の退店等により、減収となりました。

以上の結果、売上高は53億1千8百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業損失(セグメント損失)は4千8百万円(前年同四半期比3千6百万円の損失増)となりました。

<不動産>

不動産事業全体として堅調に推移したことにより、ほぼ前年並となりました。

以上の結果、売上高は11億8千5百万円(前年同四半期比0.7%増)、営業利益(セグメント利益)は4億5千6百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

<熱海>

熱海後楽園ホテルは、タワー館の改装休業及びみさき館の営業終了により、減収となりました。

以上の結果、売上高は28億2千1百万円(前年同四半期比16.2%減)、営業利益(セグメント利益)は2千5百万円(前年同四半期比87.3%減)となりました。

<札幌>

東京ドームホテル 札幌は、客室単価の増加により、増収となりましたが、労務費及び人件費の増加等により減益となりました。

以上の結果、売上高は21億9千8百万円(前年同四半期比0.4%増)、営業利益(セグメント利益)は6千4百万円(前年同四半期比14.6%減)となりました。

<競輪>

松戸競輪場は、場外開催日数の減少等により減収となりました。

以上の結果、売上高は18億3千2百万円(前年同四半期比6.9%減)、営業利益(セグメント利益)は2億2千5百万円(前年同四半期比13.9%減)となりました。

<その他>

(株)東京ドームスポーツにおいて、指定管理者制度による運営受託の増加により、増収となりましたが、後樂園スイミングスクールひばりが丘の改装休業により、減益となりました。

以上の結果、売上高は38億3千4百万円(前年同四半期比19.6%増)、営業利益(セグメント利益)は1億2千3百万円(前年同四半期比3.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、消費税の中間納付に係る仮払金の増加により3,039億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億8千7百万円の増加となっております。

なお負債は、年間シート予約仮受金等の減少により2,117億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億5千9百万円の減少となっております。

また純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により921億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億4千6百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績を踏まえ、現時点において、通期の連結業績予想につきましては、平成28年9月9日に公表した予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,019	18,794
受取手形及び売掛金	3,294	2,952
有価証券	50	302
たな卸資産	1,290	1,319
繰延税金資産	1,507	1,124
その他	1,614	6,959
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	26,773	31,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	214,110	213,214
減価償却累計額	△128,774	△128,826
建物及び構築物(純額)	85,335	84,387
機械装置及び運搬具	13,584	12,456
減価償却累計額	△11,147	△10,019
機械装置及び運搬具(純額)	2,437	2,436
土地	143,677	143,723
建設仮勘定	858	281
その他	17,573	16,854
減価償却累計額	△13,977	△12,913
その他(純額)	3,596	3,940
有形固定資産合計	235,906	234,770
無形固定資産		
借地権	425	425
ソフトウェア	517	534
その他	147	150
無形固定資産合計	1,091	1,111
投資その他の資産		
投資有価証券	33,043	31,567
長期貸付金	542	109
繰延税金資産	1,039	448
その他	2,814	2,849
貸倒引当金	△138	△137
投資その他の資産合計	37,301	34,837
固定資産合計	274,299	270,719
繰延資産		
社債発行費	1,642	1,732
繰延資産合計	1,642	1,732
資産合計	302,715	303,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	718	1,000
1年内償還予定の社債	21,521	18,327
短期借入金	29,618	28,254
未払法人税等	437	830
賞与引当金	424	788
役員賞与引当金	28	26
ポイント引当金	215	226
商品券等引換引当金	4	3
その他	17,227	14,355
流動負債合計	70,195	63,813
固定負債		
社債	44,486	47,666
長期借入金	63,017	64,359
受入保証金	2,826	2,804
繰延税金負債	54	34
再評価に係る繰延税金負債	27,843	26,429
退職給付に係る負債	4,326	3,998
執行役員退職慰労引当金	124	132
固定資産除却等損失引当金	2,398	1,583
その他	1,129	921
固定負債合計	146,207	147,930
負債合計	216,403	211,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	777	777
利益剰余金	20,130	25,171
自己株式	△483	△488
株主資本合計	22,463	27,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,407	9,473
土地再評価差額金	53,871	55,286
為替換算調整勘定	△231	—
退職給付に係る調整累計額	△199	△99
その他の包括利益累計額合計	63,848	64,659
純資産合計	86,312	92,158
負債純資産合計	302,715	303,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
売上高	63,915	64,708
売上原価	48,989	49,609
売上総利益	14,925	15,099
一般管理費	3,946	4,279
営業利益	10,978	10,820
営業外収益		
受取利息	47	12
受取配当金	375	371
為替差益	—	6
その他	51	78
営業外収益合計	474	469
営業外費用		
支払利息	1,230	1,092
社債発行費償却	466	437
為替差損	84	—
持分法による投資損失	108	8
その他	188	403
営業外費用合計	2,078	1,942
経常利益	9,374	9,346
特別利益		
固定資産売却益	0	—
固定資産受贈益	45	—
投資有価証券売却益	28	—
事業譲渡益	—	265
工事負担金等受入額	18	—
補助金収入	51	4
その他	9	24
特別利益合計	154	294
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	173	533
解体撤去費	156	488
減損損失	—	13
その他	0	8
特別損失合計	330	1,044
税金等調整前四半期純利益	9,198	8,596
法人税、住民税及び事業税	493	1,025
法人税等調整額	3,220	1,385
法人税等合計	3,714	2,410
四半期純利益	5,483	6,185
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,483	6,185

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益	5,483	6,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,874	△932
土地再評価差額金	2,915	1,414
退職給付に係る調整額	29	99
持分法適用会社に対する持分相当額	129	228
その他の包括利益合計	4,948	810
四半期包括利益	10,432	6,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,432	6,995

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年2月1日 至 平成27年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	46,688	5,373	1,173	3,363	2,185	1,967	60,752	3,162	63,915	—	63,915
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	854	—	3	2	3	—	864	43	907	△907	—
計	47,542	5,373	1,177	3,366	2,189	1,967	61,616	3,206	64,822	△907	63,915
セグメント利益 又は損失(△)	12,758	△12	446	204	76	262	13,735	128	13,863	△2,884	10,978

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,884百万円には、セグメント間取引消去40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,925百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年2月1日 至 平成28年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	47,576	5,318	1,182	2,818	2,194	1,832	60,921	3,786	64,708	—	64,708
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	931	—	3	3	3	—	941	47	989	△989	—
計	48,507	5,318	1,185	2,821	2,198	1,832	61,863	3,834	65,698	△989	64,708
セグメント利益 又は損失(△)	13,124	△48	456	25	64	225	13,849	123	13,972	△3,152	10,820

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,152百万円には、セグメント間取引消去37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,190百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。